

平成31年度・令和元年度

事業報告書

松波の里

## 目 次

1. 寄 附	1
2. 施設入所支援	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用者の動向	4
2-3 利用実績	4
3. 生活介護	4
3-1 通所利用者の状況	4
3-2 利用実績	5
3-3 日中活動	5
3-4 保健衛生	7
3-5 行 事	10
3-6 外 出	12
3-7 自治会活動	13
4. 短期入所・日中一時支援	14
4-1 利用者の状況	14
4-2 利用実績	15
5. 給 食	16
6. 防災・防犯	19
6-1 災害防護訓練	19
6-2 防犯対策	19
7. 職員の配置状況	20
8. 職員研修	20
9. ボランティアの受け入れ	23
10. 視察・研修・慰問の受け入れ	23
11. 実習の受け入れ	23
12. 保護者会活動	24
13. 相談支援	24
14. 苦情相談	25
15. 事業計画等に対する評価	25

# 平成31年度・令和元年度 事業報告

開設38年目を迎えた松波の里は、利用者主体の支援を念頭に、運営方針である「利用者の笑顔の絶えることのない、明るい施設」を根幹に各事業を行った。

施設入所支援では、12月に特別養護老人ホームへ1名の利用者が移行し、2月に1名の利用者が長期入院の末、新潟病院療養介護へ移行した。以降45名のご利用であった。

高齢化により身体機能の低下した利用者については、介護保険への移行に関する支援について、相談支援専門員を中心に行った。外部の生活介護事業所の利用を継続するとともに、1名の利用者が新規に利用を開始した。9名の利用者の要介護認定の再認定を行った。行政、関係機関、介護保険関係事業所と連携を図った。今後も個々の利用者の心身の状況に応じ、保護者と相談しながら介護保険への移行を検討していく。

強度行動障害支援者養成研修の基礎研修に1名、実践研修に1名の支援員を派遣した。統一した利用者支援を行うため支援手順書を作成したが効果的な運用ができず、改めて見直しを行っていく。

12月に入り、男性支援員が2名欠員状態での支援となったが、リスクマネジメント会議等を通しながら、利用者の状況把握に努め、職員間の連携を深めたことで、大きな事故なく、乗り切ることができた。また、2月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、厚労省の通達をもとに、帰宅、面会等の制限や外部事業所への利用制限、短期入所等の利用の制限を行いながら、職員の感染防止への意識を高めた。

以下、平成31年度、令和元年度の事業を報告する。

## 1. 寄 附

### 寄附金

年 月 日	寄 附 者	金 額
R元. 12. 20	株式会社 マルイ (代表取締役社長 清水 辰雄 様)	50,000円
R2. 2. 4	小山 護 様	50,000円
R2. 3. 31	渡辺製作所 (代表 渡辺 武弘様)	20,000円
計	3件	120,000円

## 2. 施設入所支援

定員50名のところ、昨年度末より47名の利用者で事業を開始した。12月に最高齢の77歳の女性利用者1名が退所し、特別養護老人ホームへ入所された。1月に女性利用者1名が長期入院中の新潟病院の療養介護へ移行した。以降、45名のご利用である。男性利用者1名は昨年5月より長期入院中である。

利用者状況は、65歳以上の利用者が13名である。年齢と共に心身機能の低下した利用者も増え、誤嚥、転倒等のリスクも高まった。リスクマネジメント会議、栄養ケア会議等を通し、個々の利用者に応じた支援と食事形態等の見直しを随時行った。職員数の不足により、業務時間の見直しを行い、職員相互の連携を図りながら、事故のないよう支援を行った。介護保険の要介護認定の再認定を9名の方が受けた。特別養護老人ホーム待機者は5名である。うち1名の方が、新たに待機事業所を追加した。

成年後見制度の利用については、今年度新たに1名が家族後見として利用を開始し、14名となっている。保護者の高齢化も顕著となり、介護保険の説明と共に、成年後見制度についても説明している。

### 2-1 利用者の状況（令和2年3月31日現在）

#### ① 出身市町村別入所人数

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	上越市	新潟市	計(名)
男性	21	1	0	1	2	25
女性	17	1	1	1	0	20
計	38	2	1	2	2	45

#### ② 年齢別人数および平均年齢 入所

年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~	計(名)
男性	0	1	0	1	2	3	1	0	3	7	7	25
女性	0	1	0	2	2	1	2	0	1	4	7	20
計	0	2	0	3	4	4	3	0	4	11	14	45
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	72歳11か月			21歳2か月			55歳3か月			54歳11か月		
女性	71歳11か月			23歳3か月			54歳5か月					

#### ③ 障害支援区分別人数

区分	4	5	6	計(名)
男性	2	10	13	25
女性		5	15	20
計	2	15	28	45

④療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	21	4	25
女性	19	1	20
計	40	5	45

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

	視覚	聴覚	言語	体幹	肢体不自由	心機能障害	計(名)
男性		2	3	2	2	1	10
女性		1	1		3		5
計		3	4	2	5	1	15

⑥ てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	11	3	1	15
女性	8		1	9
計	19	3	2	24

⑦ 成年後見制度利用者数

	家族後見	第三者後見	計(名)
男性	3	5	8
女性	3	3	6
計	6	8	14

⑧ 介護保険関係

	特養等待機者	要介護区分認定者
男性	2	4
女性	3	4
計	5	8

## 2-2 利用者の動向

- ・令和元年12月26日 女性利用者(77歳) 1名 退所(特養くじらなみ 入所)
- ・令和2年 1月31日 女性利用者(54歳) 1名 退所(新潟病院入院 療養介護 移行)

## 2-3 利用実績(年間)

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)
50	45	366	18,300	16,088	87.9	43.9
昨年度	50	47	365	18,250	93.1	46.6

## 3. 生活介護

通所生活介護については、3名の方が定期的なご利用を継続されている。施設入所の利用者と合わせ、48名のご利用をいただいた。退所利用者の関係で、新たに1名の利用者が介護保険事業所の生活介護基準該当サービスの利用を2月から開始した。日中活動として他の生活介護事業所を6名が利用している。

日々の生活の中に音楽を積極的に流し、また、年齢層に応じた曲を流すことによって、情緒の安定につながった。作業室の一角を整備し、個別に落ち着ける空間を作り、穏やかに過ごせる環境を整えた。

今年度より、新たにパンの日を設定し、市内の障害者通所施設が作っているパンをその事業所職員から来園してもらい、販売していただいた。利用者が自身でお金を払い、好きなパンを選択する機会を設定した。

### 3-1 通所利用者の状況(令和2年3月31日現在)

#### ① 出身市町村別人数

柏崎市のみ 男性 3名

#### ② 年齢別人数および平均年齢

年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~	計(名)
男性		1		1							1	3
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	67歳 7か月			21歳 5か月			39歳 9か月			39歳 9か月		

#### ③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性			1	1	1		3

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	2	1	3

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

身体障害者手帳 所持者なし

⑥ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	1	1		2
計	1	1		2

3-2 利用実績(年間)

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)
50	51	270	13,500	11,798	87.4	43.7
昨年度	50	269	13,450	12,598	93.7	46.8

3-3 日中活動

利用者個々のニーズに合った活動を提供し、日中活動の場として、日々の生活において潤いと生きがいを感じることを目標として下記の活動内容を提示した。活動が円滑に実施できるよう、月間及び週間の活動メニューを作成し、担当職員を明記することで、職員間の引継も明確にできるように実施した。活動内容についても見直しを図り、利用者の興味を持てるような内容を検討し、提供した。また、午後の小グループ活動については、職員数の関係により、実施できなかったが、夏にはプールの利用を個別支援計画に沿って実施した。

- ①運動班・・・歩行や身体を動かすことで個々の身体機能の維持と情緒の安定を図った。体育館に運動面の個別支援計画の支援内容を提示し、個別支援計画に応じたサービス提供を心がけた。室内でできる運動メニューを検討し、体育館での歩行の他にボール投げ、輪投げ等楽しく身体を動かすメニューを提供した。  
夏期、冬期共に、体育館の気温を確認しながら、歩行、運動を行った。
- ②創作班・・・利用者の興味や適性に合わせ、様々な活動を提供した。新しい活動内容も取り入れる様に心がけた。利用者が穏やかに楽しめる環境作りを行った。アルフォーレで開催された柏崎ギャラリーに利用者の作品を出展した。
- ③小グループ活動(午後)・・・職員数の関係で実施できなかった。

☆実習

社会参加の一環として、社会体験の拡大と勤労意欲の育成を目標に、松波デイサービスセンター、しおかぜ荘に実習を依頼した。

<松波デイサービスセンター>

(概要)

実習者	実習期間	実習日	実習形態	実習内容
女性3名	4月～11月	2回/週	2名ずつ交替	高齢者との交流 シーツ交換等

(日数)

月/日数	4	5	6	7	8	9	10	11	計(日)
女性 A	5	7	4	7	5	5	6	7	46
女性 B	6	8	5	8	6	6	7	8	54
女性 C	1	1	1	1	1	1	1	1	8

<しおかぜ荘>

(概要)

実習者	実習期間	実習日	実習形態	実習内容
男性1名	4月～11月	2回/週	グループホーム 利用者と2名	清掃、手すり拭き等

(日数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	計(日)
日数	5	5	6	7	5	8	6	6	48



### ☆じょんのびの日・誕生会

毎月最終水曜日の午前を「じょんのびの日」とし、職員の企画、運営によるレクリエーション、ゲーム等で利用者が楽しめる活動を提供した。午後は当該誕生月の利用者へプレゼントを渡し、おやつにケーキを食べてお祝いした。午後の誕生会については、開催の仕方を検討し、よりスムーズな進行ができるようになった。

じょんのびの日の活動内容は以下のとおりである。

月	活 動 内 容	月	活 動 内 容
4	箱積みバランスゲーム	10	秋のミニ運動会・表彰式
5	春のミニ運動会・表彰式	11	ボランティアによるフラダンス
6	チーム対抗風船バレー・MVP発表	12	クリスマス福笑い壁面作り
7	花火ボウリング	1	ガブっとモグモグゴクン体操
8	100点はどこにあるかな?ゲーム	2	男女対抗風船バレー
9	ボランティアによるカラオケ大会	3	箱の中身あてゲーム

### 3-4 保健衛生

#### ① 検 診

年 月 日	項 目	人数(名)	内 容
R元. 5.5~31	大腸がん検診	26	柏崎市検診
5.24	前立腺がん検診	11	柏崎市検診
5.28	子宮頸がん検診	5	柏崎市集団検診 (健康管理センター)
	乳がん検診	2	
6.19	乳がん検診	3	柏崎市時間指定健診
7.23・29	健康診断	45	労働衛生医学協会
9.6	子宮頸がん検診	2	柏崎市施設検診(宮尾医院)
10.2	歯科検診	45	平田歯科医院(嘱託医往診)
10.29	胸部レントゲン(車椅子)	8	保健衛生センター
10.30	インフルエンザ予防接種	44	にしやまふれあいクリニック (嘱託医往診)

## ② 入院

昨年より8件減少した。退所した利用者の関係もあるが、昨年度入退院を繰り返していた利用者に対し、様々なリスクについて考察し、それを回避すべく対応を検討し、今年度は入院につながらなかったことも減少の要因と考えられる。

性別	年齢	医療機関	病名	期間	日数
女性 D	53	新潟病院	誤嚥性肺炎	H31. 1. 29~R2. 1. 31 (退所)	367
男性 E	57	厚生病院	脳機能障害	R元. 5. 24~入院中	10
男性 F	64	柏崎総合医療センター	誤嚥性肺炎	11. 7~12. 9	23
男性 G	65	柏崎総合医療センター	誤嚥性肺炎 尿路感染症	R2. 2. 5~ 2. 20	16
男性 H	38	新潟病院	左鼠径ヘルニア	3. 16~ 3. 21	6

## ③ 通院

今年度は暖冬の影響もあったのか、冬場に体調を崩す利用者が少なかった。年度末に風邪症状がまん延することがあった。利用者により長引くこともあったが、重症化せずにすんでいる。誤嚥性肺炎を防ぐために、食事支援の体制を見直し、感染症に対する職員の意識の向上も見られたことが、特に内科系の受診減につながったと考えられる。

※昨年度

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(名)	
精神	男	17	15	13	14	17	16	11	19	21	15	14	14	186	304 ※308
	女	13	9	9	8	15	10	4	14	11	8	8	9	118	
内科	男	9	9	10	10	7	7	6	6	5	6	7	11	93	176 ※300
	女	10	6	8	5	3	8	8	6	4	5	5	15	83	
外科	男	0	5		1								3	9	35 ※30
	女	3	1		3	1	5	1	7	2		2	1	26	
整形	男			1		2			1			1	2	7	19 ※23
	女			2	1	2		1	2	1	1	1	1	12	
歯科	男	1	2	2	4		2	3	7	1		2	2	26	79 ※68
	女	2	9	4	3	2	11	4		7	2	3	6	53	
眼科	男		1							1		1		3	4 ※7
	女							1						1	
耳鼻科	男													0	0 ※4
	女													0	
皮膚科	男	1	6	1	3	2		3	2	2	1	4	5	30	45 ※52
	女				2			7	2			2	2	15	
その他	男	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	13	30 ※33
	女	3	1		1	1	3	2	1	3			2	17	
合計	男	31	39	28	33	29	26	24	36	31	23	29	38	367	692 ※825
	女	31	26	23	23	24	37	28	32	28	16	21	36	325	

※前年度比133件減

☆内科には神経内科が含まれる。

☆外科には脳神経外科が含まれる。

☆その他には小児科、婦人科、泌尿器科、リハビリ科、放射線科が含まれる。

☆救急外来は次の受診の科に含まれる。

#### ④ その他

令和2年の年明けより発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、厚労省の通知をもとに、令和2年2月より、施設入所利用者の外部事業所の利用を一部控え、帰宅等の自粛のお願い、外部利用者の当施設利用についての自粛を依頼し、感染防止に努めた。また、職員に対しても、マスク着用、手指消毒等の感染防止対策についての周知徹底に努め、同ウイルスに関する情報を提供し、職員の感染防止への意識向上を図った。

### 3-5 行事

施設での生活に潤いと安らぎを与え、季節感が持てるように行事を計画した。日帰り旅行②班では、車椅子利用者を中心とした計画を作成し、予定通り実施することができた。松波の里まつりでは、利用者参加型のイベントや特技披露を行い、利用者や保護者からも好評を得た。また、施設外で開催されるイベントにも積極的に参加した。

#### ☆園内行事

月	日	曜日	行 事	内 容
4	17	水	日帰り旅行①	いくとぴあ食花 白根グレープガーデン 利用者 9名 職員 5名
	12	金	ピクニック①②③	赤坂山公園、夢の森公園散策 利用者40名 職員16名
	26	金		
5	15	水	日帰り旅行②	長岡越後丘陵公園 利用者 6名 職員 6名
	21	火		
6	14	金	えんま市	えんま堂、本町通り 利用者42名 職員28名
	15	土		
	16	日		
	20	木	日帰り旅行③	寺泊鮮魚センター 寺泊温泉 利用者11名 職員 6名
7	9	火	日帰り旅行④	松之山温泉 ふるさと会館 利用者 9名 職員 6名
8	20	火	納涼会	みこし、ヨーヨー釣り、くじ引き、輪投げ 昼食：屋台風メニュー（パイキング形式）
9	26	木	日帰り旅行⑤	フローラルガーデン小布施 ぶどう狩り 利用者 9名 職員 7名
10	20	日	松波の里まつり	松波の里 体育館：フレンズカラオケ一座、松波の里利用者による特技披露 奈々ミニライブ 廊下、作業室：利用者作品展示 食堂：模擬店
12	25	水	クリスマス忘年会	松波の里 デイルーム、食堂 サンタさん福笑い、プレゼント、ケーキ
1	16	木	新年会	松波の里食堂 餅つき
2	4	火	節分	松波の里デイルーム 豆まき 的当てゲーム おやつ：ぜんざい
3	3	火	ひなまつり	松波の里デイルーム 雛飾り、桜満開ゲーム 女性利用者メイクアップ おやつ：桜餅、甘酒

☆地域交流及び招待行事

月	日	曜日	行 事	参加者 (名)	
				利用者	職員
5	9	木	コツ骨貯筋体操 <松波4丁目会館>	3	1
	25	土	はまなす特別支援学校大運動会 <さざなみ学園グラウンド>	3	1
7	27	土	福ふくフェスティバル <刈羽村老人福祉センター>	4	1
8	10	土	さざなみサマーフェスティバル <さざなみ学園>	4	1
9	14	土	スポーツ交流会 (柏崎市スポーツ推進員) <松波の里>	44	5
	22	日	松波町民大運動会 <鯖石川改修記念公園>	6	1
	28	土	パラスポーツ観戦・体験会 <柏崎市総合体育館>	4	1
	30	月	サロンと施設の交流会 <松波コミュニティーセンター>	6	1
10	14	月	松波コミセンまつり～ハッピーハロウィン～ <松波コミュニティーセンター>	4	1
	26	土	松風の里秋祭り <松風の里>	5	2
11	20	水	柏崎ギャラリー見学 <柏崎市文化会館アルフォーレ>	5	1
	24	日	同 上	2	1
計 12回				90	17

### 3-6 外出

#### ① 希望外出

利用者の外出希望に沿って、買い物やドライブに職員が同行した。冬期間の外出については、感染症流行を考慮して、希望の物品やおやつを担当職員が購入し、希望おやつの日として提供した。

利用者/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	8	10	12	16	9	18	7	7	1	1	1		90
人数	17	18	20	26	16	30	10	10	1	1	1		150

#### ② 自由外出

外出練習を終了した利用者が、単独またはグループで買い物や近隣の自動販売機まで歩いてジュースを購入してきた。今年度は利用者からの希望が上がるのが少なく、夏場は猛暑のため外出を控えていた。

月	10	11	計
回数	2	2	4
人数	4	4	8

#### ③ グループ外出

利用者の希望に沿って、プールや釣り等を楽しむ外出を実施した。

月	7	8	9	10	計
回数	1	1	1	1	4
人数	2	4	4	4	14

#### ④ 昼付き外出・喫茶外出

利用者の希望に応じた食事等を楽しめるように外出を実施した。

月	7	8	9	10	11	計
回数	2		4	4	1	11
人数	4		8	5	1	18

### 3-7 自治会活動

話し合いの場を毎月1回提供し、支援課職員、栄養士が参加した。食事の希望調査や毎月の行事予定等、利用者の興味、関心の高い内容について、要望を聴取し、周知するように努めた。自治会役員を中心に、奉仕活動に取り組んだ。地域のクリーンデーや手をつなぐ育成会の環境活動への参加、松風の里、さざなみ学園との合同の奉仕活動等、実施することができた。

#### ① 組織

利用者の代表によって運営される自治会役員会の組織は、次のとおりである。

写真係は、利用者同士のトラブルの要因となることが多く、令和2年1月末をもって終了し、令和2年度は廃止とする。職員の勤務については、毎日の朝会で周知した。

役員	人数	役割
会長	1名	利用者を代表する。 役員会の準備及び司会進行を行う。
副会長	2名	会長を補佐する。 各月の行事予定を発表する。
清掃係	2名	月初めと大掃除の日に、清掃分担区域を発表する。 清掃用具を点検し、必要に応じて職員と補充を行う。
食事係	2名	各週の配膳当番と週番を発表する。 台布巾やおしぼり等の洗濯や補充を行う。
写真係	2名	職員の勤務状況のマグネット写真の交換を行う。 ※令和2年1月末をもって終了
週番	2名	月曜日の全体朝会の司会進行等を行う。 朝、夕のデイルームのカーテンの開閉を行う。

#### ② ボランティア活動

自治会の役員を中心に、地域の清掃活動に取り組んだ。

9月に予定されていた合同清掃の2回目については、天候不良のため中止となった。

年月日	内容	利用者	職員
R元 5.29	松風の里、さざなみ学園との合同奉仕清掃① (松波地区海岸ゴミ拾い)	6	2
8.4	クリーンデー柏崎 (草取り、ゴミ拾い)	4	1
9.8	新潟県手をつなぐ育成会 海岸清掃 (中央海水浴場 夕日のドーム裏ゴミ拾い)	6	1
計	3回	16名	4名

③ 選挙への投票

朝会を利用して選挙の告示の周知に努め、利用者の自発的な投票を支援した。

- ・新潟県議会議員選挙 平成31年 4月 7日 利用者 8名投票 職員2名同行
- ・柏崎市議会議員選挙 平成31年 4月21日 利用者11名投票 職員2名同行
- ・参議院議員選挙 令和 元年 7月21日 利用者11名投票 職員2名同行

4. 短期入所・日中一時支援

6名の方が定期的にご利用された。利用者やご家族の状況に応じて、柔軟に受け入れた。園内に風邪気味の利用者が増えた場合は、利用を控えていただいた。各相談支援事業所との連携を密にし、受け入れの体制を整えた。

4-1 利用者の状況（令和2年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	計(名)
男性	3		3
女性	2	1	3
計	5	1	6

② 年齢別人数及び平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
男性				3								3
女性				1	1					1		3
計				4	1					1		6
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	34歳 5か月			31歳 6か月			32歳 9か月			37歳 8か月		
女性	60歳 3か月			30歳 11か月			42歳 6か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性				2			2
女性		1		1	2		4
計		1		3	2		6



④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	3		3
女性	1	1	2
計	4	1	5

※女性利用者1名は、療育手帳の所持なし

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

身体障害者手帳所持者 女性1名 肢体不自由 1級

⑥ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	1	1		2
女性		1		1
計	1	2		3

4-2 利用実績(年間)

① 短期入所

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)
2	5	366	732	234	31.9	0.6
昨年度	2	365	730	356	48.8	1.0

② 日中一時支援

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)
2	2	366	732	31	4.2	0.08
昨年度	2	365	730	36	4.9	0.1

## 5. 給食

とろみ調節食品の使用量を見直し、給食業務の委託先と連携して、より安全な食事の提供に努めた。栄養ケアマネジメント会議では、毎月モニタリングを実施し、個々の利用者の状態に応じた食事を提供することができた。また、利用者から聴取した要望を取り入れた献立が実施できた。

### ① 給与栄養素

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂肪 (g)	炭水化物 (g)		カルシウム (mg)
					食物繊維 (g)	
数値	1,912	73.2	48.2	290.3	17.1	637
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩 (g)
数値	11.1	650	1.06	1.14	113	9.3

### ② 食品構成 (単位; g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び 甘味類	豆類	種実類	野菜類	
	米類	小麦類 (その他)					緑黄色野菜	その他野菜
数値	200.5	77.8	37.2	3.7	34.9	1.5	142.0	216.3
食品	果実類	きのこ類	藻類	魚介類	肉類	卵類	乳類	油脂類
数値	120.4	20.3	4.3	70.1	79.3	37.2	179.5	8.8
食品	菓子類	嗜好飲料類	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表2015年版(七訂) 登載に準ずる。			
数値	25.0	92.6	424.3	7.2				

③ 食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
朝 食	8 : 0 0	1週間のうち、4回パン食・3回米飯
昼 食	12 : 0 0	1週間のうち、6回米飯・1回麺類 行事食、希望メニュー
おやつ	15 : 0 0	お菓子・お茶、パックジュース、手作りおやつ
夕 食	18 : 0 0	米飯
夜のお茶	20 : 0 0	温かい麦茶

④ 特別食・病態食

食 種	人 数	食 種	人 数
ミキサー食	1	一口大カット食	8
きざみとろみ食	5	低ナトリウム血症対応増塩 一口大カット食	1
全粥きざみとろみ食	3	高血圧症対応減塩 きざみとろみ食	1
低ナトリウム血症対応増塩 ミキサー食	1	糖尿病対応 エネルギー制限減塩食	1

⑤ 行事食

月	行 事	献 立
4	誕生会	卵とじカツ丼、具だくさん汁、白和え、ももゼリー
5	誕生会	チキンドリア、コンソメスープ、ハムのマリネ、マスカットゼリー
6	誕生会	ロコモコ丼、野菜スープ、ツナサラダ、ピーチゼリー
7	土用の丑の日	鰻の混ぜご飯、すまし汁、ほうれん草と蒸し鶏のうま塩ナムル、スイカ
	誕生会	ゆかりご飯、みそ汁、エビフライ、ほうれん草のおひたし、コーヒーゼリー
8	納涼ランチ	【バイキング形式】 オムそば風、アメリカンドッグ、フライドポテト、枝豆、スイカ
	誕生会	オムライス、コーンポタージュ、中華風サラダ、コーヒーゼリー
9	誕生会	クロワッサン、肉団子とキャベツのシチュー、シーフードサラダ コーヒーゼリー
10	松波の里まつり	味噌ラーメン、おにぎり（ゆかり、鮭）、豚汁、唐揚げ、 さつまいもスティック、カットケーキ、ジュース
	誕生会	チキンドリア、ポトフ、コールスローサラダ、コーヒーゼリー
	ハロウィン	クロワッサン、ハロウィンシチュー、コロコロサラダ、オレンジ
11	誕生会	ピザトースト、野菜たっぷりシチュー、グリーンサラダ、 コーヒーゼリー
12	誕生会	卵とじカツ丼、具だくさん汁、カブと水菜の和え物、コーヒーゼリー
	クリスマス 忘年会	サンタパン、コンソメスープ、チーズハンバーグ、 クリスマスポテトサラダ、いちごババロア
1	七草	七草菜飯、豚汁、鯖の西京焼き、厚揚げとぜんまいの煮物、 ピーチゼリー
	新年会	海鮮ちらし、お雑煮、れんこんのはさみ揚げ、紅白なます、 抹茶ケーキ
	誕生会	クロワッサン、豆と野菜のスープ、エビフライ、ポテトサラダ、 コーヒーゼリー
2	節分	恵方巻、海老しんじょうのすまし汁、菜の花とあさりのからし和え、 五目豆、節分ゼリー
	誕生会	ピザトースト、野菜たっぷりポトフ、シーザーサラダ、 コーヒーゼリー
3	ひなまつり	海鮮ちらし、すまし汁、茶わん蒸し、春菊としめじのくるみ和え、 白玉フルーツあんみつ
	誕生会	チキンドリア、コーンポタージュ、ブロッコリーのカレー炒め、 いちご

## 6. 防災・防犯

### 6-1 災害防護訓練

訓練形態	回数
消防署員立ち合いによる夜間を想定した総合防災訓練（消火訓練）	1
火災時の避難訓練（・日中活動体制下2回 ・休日体制下1回 ・作業時間中1回） ◎消防署への通知1回含む ※	4
夜間を想定した火災時の避難訓練	2
早朝時を想定した火災時の避難訓練	1
地震時における避難訓練（日中活動中、家族緊急連絡・職員緊急連絡網訓練1回含む） ◎その後火災発生を想定 消火訓練を行う	2
水害想定における避難訓練（日中活動中） ◎その後消火訓練を行う	1
近隣施設「松風の里」との連携による火災時の避難・救助訓練	1
計	12

※担架の使用方法の確認と救助訓練を避難訓練終了後に3回実施した。

### 6-2 防犯対策

・女性寮新居室の廊下の窓にカーテンを設置、窓ガラスに目隠しシート、飛散防止フィルムを貼付した。

## 7. 職員の配置状況（令和2年3月31日現在）

職 種	員 数	区 分				備 考
		常 勤		非 常 勤		
		専従	兼務	専従	兼務	
園 長	1	1				
サービス管理責任者	1	1				
支 援 員	20	15	1	4		社会福祉士2名、介護福祉士1名
医 師（嘱託医）	3				3	内科・精神科・歯科
看 護 師	1		1			正看護師
栄 養 士	1	1				管理栄養士
事 務 員	3	1	1	1		
清 掃 員	1			1		

### <職員動向>

- ・平成31年 4月 1日付で、栄養士1名、支援員1名を採用した。
- ・令和 元年 7月 1日付で、支援員1名がさざなみ学園へ異動した。
- ・令和 元年 7月 1日付で、事務員1名、支援員1名がさざなみ学園より異動した。
- ・令和 元年 8月31日付で、事務員1名、支援員1名が退職した。
- ・令和 元年10月 1日付で、パート支援員1名を採用した。
- ・令和 元年11月 1日付で、パート支援員1名を採用した。
- ・令和 2年 1月 1日付で、パート支援員2名を採用した。
- ・令和 2年 2月25日付で、パート事務員1名を採用した。
- ・令和 2年 2月28日付で、パート看護師1名が退職した。
- ・令和 2年 3月 1日付で、臨時支援員1名を採用した。
- ・令和 2年 3月31日付で、臨時支援員1名が雇用期間満了。

## 8. 職員研修

### ① 法人研修

年 月 日	講 師	内 容
R元. 9. 24	一般社団法人SADO Act 相談支援センターそらうみ 管理者 本間 奈美 様	「その人らしい」を支える意思決定支援 ※3施設合同研修

### ② 施設研修

年 月 日	講 師	内 容
R元. 12. 16	平田歯科医院 院 長 平田 信明 様	障害者歯科における口腔保健指導
R2. 1. 15	松波の里 看護師 小林 真美	新任職員への感染症対応研修

③ 施設内定期研修

年 月	内 容
R元. 6, 7, 8, 9, 10, 12月 R2. 1, 3月	研修報告及び意見交換 利用者、保護者のアンケート結果の報告（8月）

④ 外部研修

年 月 日	内 容	参加者
R元 7. 4～5	北陸地区知的障害者福祉協会 北陸地区知的障害関係施設職員研究大会 ＜石川県金沢市 ホテル金沢＞	2
8. 1～2	新潟県社会福祉協議会 社会福祉職員スタートアップ研修 ＜新潟ユニゾンプラザ＞	1
8. 10～11	新潟県 強度行動障害支援者養成研修（基礎） ＜新潟県立看護大学＞	1
8. 23	摂食嚥下機能向上に関する研修会 ＜国立病院機構 新潟病院＞	2
9. 10	新潟県社会福祉協議会 「気づく力」研修 ＜新潟ユニゾンプラザ＞	1
9. 25～26	新潟県社会福祉協議会 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース） ＜燕三条地場産業振興センターリサーチコア＞	1
9. 25	柏崎原子力広報センター 新潟県原子力関連視察研修 ＜柏崎原子力広報センター＞	1
10. 10～11	柏崎市消防本部 防火管理者研修 ＜柏崎市消防本部＞	1
10. 25	柏崎地区福祉施設協議会 研修会「笑いヨガ」 ＜柏崎市総合福祉センター＞	2
11. 1	柏崎地区福祉施設協議会 レクリエーション交流会及び懇親会 ＜シーユース雷音＞	2
11. 5	新潟県知的障害者福祉協会 中越地区会員研修会 「現場で活かせるアンガーマネジメント入門講座」 ＜長岡市中央公民館大ホール＞	1
11. 8	新潟県 サービス管理責任者及び児童発達管理責任者講習研修 ＜柏崎市商工会議所＞	2
11. 15	新潟県知的障害者福祉協会 上越地区サービス管理責任者・児童発達管理責任者現任研修 ＜上越市福祉交流プラザ＞	1
11. 18～19	新潟県 障害者虐待防止・権利擁護研修 ＜新潟ユニゾンプラザ・自治会館＞	1

年 月 日	内 容	参加者
1 1. 2 0 ~ 2 1	新潟県 強度行動障害支援者養成研修（実践） <朱鷺メッセ>	1
1 1. 2 0	柏崎市福祉保健部 療育支援者研修会 <柏崎市元気館>	1
1 1. 2 8 ~ 2 9	新潟県知的障害者福祉協会 障害者支援施設全国大会新潟大会 <ANAクラウン新潟>	2
1 2. 1 1	新潟県長岡地域振興局 圏域別研修会「自閉症スペクトラムの理解と対応」 <長岡地域振興局>	1
1 2. 1 3	新潟県知的障害者福祉協会 全県会員研修 <新潟市民プラザ>	1
R 2 1. 1 5	応急法研修 <松風の里>	2
2. 2 7	障害者就業・生活支援センターこしじ 障害者支援関係機関セミナー <長岡市社会福祉センター トモシア>	1
計	2 1 回	2 8 名

⑤ 柏崎刈羽地域自立支援協議会、新潟県知的障害者福祉協会等への職員派遣

年 月	内 容	派遣職員
R元. 5 ~ R 2. 1	自立支援協議会：相談支援連絡会（6回 見学会含む）	1
R元. 1 1 ~ R 2. 2	自立支援協議会：地域づくりプロジェクト（4回）	1
R元. 6 ~ 1 2	新潟県知的障害者福祉協会 ：障害者支援施設全国大会実行委員会（8回）	1
R元. 9	柏崎市社会福祉協議会：ボランティアセンター運営委員会	1
計	1 9 回	4 名



9. ボランティアの受け入れ

名 称		回 数	人 数	内 容
刈羽村ボランティア友の会		7	21 (2~4名/回)	行事参加・環境整備
刈羽ライオンズクラブ		1	11 (1グループ)	環境整備
柏崎刈羽美容組合		2	9 (1グループ)	美容
フレンズミュージック		4	12 (3名/回)	カラオケショー
アロハPoePoe		1	5	歌、踊り
クリスマスコンサート		1	3	バンド演奏
その他	個人	6	6 (1名/1回)	行事参加 (松波の里まつり)
	団体	1	2 (1グループ)	歌 (松波の里まつり)
計		23回	69名	

10. 視察・研修・慰問の受け入れ

今年度はなし

11. 実習の受け入れ

期 間	日 数	学校・学年・性別	種 類	人 数
R元 8.30~9.12	10日間	上越教育大学 幼児教育コース 2年 (女性)	保育実習 (介護等体験を含む)	1
R2 2.18~3.3	12日間	北陸福祉保育専門学院 こども学科 1年 (女性)	保育実習 I (施設)	1
2.25~3.11	12日間	日本こども福祉専門学校 こども保育科 1年 (女性)	保育実習 I (施設)	1
計			3 件	3名

## 12. 保護者会活動

### ① 活動内容

施設運営に協力するため、10名の役員が、以下の活動を行った。

活動	役員数	年月日	内容
研修	1	R元. 7.10	見附市 まごころ学園・まごころ寮 視察研修 (保護者6名 職員3名 参加)
広報	1		年2回の広報「まつなみ」の発行 (5月・8月)
行事	10	10.20	「松波の里まつり」への協力 野菜・花木販売、掘り出し物、作品展示販売
環境整備	10	5.26	奉仕の集い① (保護者 15名参加) 花壇整備、草取り等屋外整備
		10.19	奉仕の集い② (保護者 13名参加) 園内整備、松波の里まつり準備
兄弟姉妹	2	6.29	兄弟姉妹の集い 動く玉入れゲーム (兄弟姉妹 11名参加)

### ② ふれあいの日

利用者、職員と協働した洗濯物整理や会食を「ふれあいの日」と呼び、以下の活動を行った。保護者の高齢化等により、年々参加人数が減少しているため、来年度から廃止とする。面会等には随時応じ、要望により、昼食の用意をすることとした。

#### <内容>

- a. 人数 1名/日
- b. 時間 10:00から12:30まで
- c. 活動 利用者とのふれあい、洗濯物の整理、会食

#### <参加状況>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
参加者	3	2	4	4	1	4	1	1	1		2		23

## 13. 相談支援

7月に上越市の男性利用者の相談支援業務を上越市の事業所から引き継いだ。介護保険へ移行した1名の計画相談が12月に終了した。2名の特別養護老人ホームの入所申請手続きを代行した。1名の特別養護老人ホームの見学に同行し、利用者、保護者の意向の聞き取りを行った。また、9名の利用者の介護認定の更新手続きを行った。

令和2年7月に相談支援業務を元気館障害者デイサービスセンターへ移行することを保護者へ周知した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
計画相談											1	1	2
モニタリング	1	6	21	5	11	1		8	18	8	11	1	91

#### 1 4. 苦情相談

平成31年度・令和元年度に受け付けた苦情はなかった。但し、利用者宛の郵便物について、保護者へ転送が遅れたことに対しての、申し入れが2件あった。職員へ早めの転送を心がけるように周知した。

#### 1 5. 事業計画等に対する評価

- (1) パート支援員を採用することにより、寮内業務の見直しを行い、環境整備や細かな利用者支援に効果的に取り組めた。
- (2) 退職者や体調不良の職員の長期欠勤のため、職員数の不足に悩まされたが、業務を見直し、職員間の連携を重視しながら支援にあたった。その間、事故なく支援することができた。
- (3) 新採用職員に対し、育成担当の職員を配置した。新任職員が相談しやすい環境を整え、目標を設定しながら、職員の育成を図った。
- (4) 各ケースに応じた支援方法や環境調整（介護ベッドの導入、居室入り口にセンサーライトの設置、視覚からくる刺激の調整等）を行うことにより、安全、安心な生活につながった。
- (5) 支援手順書の効果的な作成ができなかった。統一した支援につなげることを今後も検討していく。
- (6) パンの日を設定した。利用者自身でお金を払い、好きなパンを購入するという意思決定を尊重した取り組みを行った。大変楽しみにされ、来年度も継続していく。
- (7) 感染症に対して、感染拡大防止を図るべく、看護師を中心に対応した。保護者への帰省、帰宅受け入れ時の協力体制と職員の感染防止意識の向上を図った。職員の意識向上が見られ、発熱利用者等への対応の迅速さが表れた。
- (8) 利用者の体調変化を早めに察知し、原因を追究し、生活全般を見直すことにより、通院、入院の減少につながった。
- (9) 3カ所の入所施設を中心に法人内の合同研修を初めて開催した。圏域外から福祉の現状に合った講師を招聘することができ、有意義な研修となった。

